

みんなで創る、良城だからこそ「総合的な学習の時間」の学び

今、4年生では、新しい総合的な学習の時間の単元「歯の健康を守ろう」を進めています。

この取組は、「キッズ歯ッカソン」というライオン株式会社が提唱している「児童が『主体的・協働的』に学ぶためのプログラム」を活用した取組で、10月の全国大会山口大会で実践発表を行います。

本校としては、11月の図書教育の発表がある中での取組依頼でしたが、「大切な心と体を自ら守る」という「体」分野の総合単元がなかったことから、昨年度末に協議し、受け入れることになりました。

前例のない新しい取組で大きな不安の中での出発ではありましたが、ライオンによる基本的なプログラムがあり、それを基に平山先生達が本校に合ったプログラムを作成していただいたことで、安心して進めることができました。

歯の8020（80歳で20本、健康な歯を残す）運動を進めるためのアイデアを各個人で考え、それをグループごとに1つに絞る話し合いを行っています。「歯ぐきルーペ」など、それは面白いアイデアが出され、児童は実に楽しそうに学んでいます。



昨日は4の4で授業がありました。

この写真に、この学習の取組の素晴らしさが表れていると思います。授業は、児童の笑顔があふれ、自ら学び、人と学んでいます。そして、何より指導する泉先生が実に楽しそうです。

授業を見に行くと話を聞くと、児童の意欲、アイデアの面白さ、この単元を進めるための他の先生方の協同について、それは楽しそうに私に話してくれました。

教卓の上には、ライオンからの多くの資料の箱、後ろには、竹田先生が市立図書館から借りてくれた歯の健康に関するたくさん本の箱が置いてありました。

また、児童が使うタブレットには、宮田先生が集めてくださった参考になりそうなサイトが一覧化されていました。児童は、この中からどんどん自分のアイデアを実現するためのデータを自ら探しています。

授業の中では、電子黒板が大変活躍していました。途中で、泉先生から、画面の写真などの切り抜き方法を指導されました。この指導も児童の必要感に応じた大変タイムリーな指導で、児童もすぐに技術を獲得し、早速、切り抜いていました。

その後の指導にも驚きました。泉先生は、各自が切り抜いた資料を画面上に全員分を並べて示し、誰がどんな資料を切り抜いているかを見せ、他の児童の参考にさせました。電子黒板恐るべし、泉先生恐るべし！藤本教育長にも見せたいものです。

4学年の取組は、まさに総合的な学習の時間という教科の意義を体現している素晴らしい取組だと思います。今回の学習指導要領の改訂でも、「カリキュラムマネジメント」の中核を担うものとして、その取組の充実が期待されています。

原田教務主任から示された新しい総合の全体計画は、その可能性を大いに秘めたものです。各学年で、3年から6年まで4年間の学習の構造をよく共通理解し、6年での「自分にできる地域貢献」を最終目標として、創意工夫をしていきましょう。

もっともっと楽しくてたまらない、良城だからこそ総合的な学習の時間をみんなで創っていきましょう。